

導入事例

三井倉庫ホールディングス株式会社 様



三井倉庫ホールディングス
株式会社
情報システム部
企画開発第4課
大河原邦彦 様



「**決して止められないシステム**であり、
同時に**最も高いセキュリティレベル**も求められる。
それが SWANStor を採用した理由です。

SWANBox は SWANStor の機能をそのままに**低コストで構築でき、
手軽に導入できる**点が決め手となり、導入する事を即断しました。」

三井倉庫ホールディングス株式会社様では、海外拠点と日本の間で運用されるミッションクリティカルなシステムを支えるセキュリティインフラとして、SWANStor/SWANBox を採用いただきました。SWANStor/SWANBox の導入の経緯と効果について、三井倉庫ホールディングス株式会社 情報システム部 企画開発第4課 大河原邦彦 様にお話を伺いました。

モノを動かす。心で動かす。



三井倉庫ホールディングス

三井倉庫グループ全体の指針を
示し事業会社への経営サポートと
全体最適化を行う持株会社です。

多岐にわたる三井倉庫グループの全体を
広く見渡して、経営戦略の立案や方向性を
策定するとともに、グループ収益の最大
化を実現するため、グループ会社個々の
事業戦略にもとづいたサポートや助言、
経営資源の再分配などを行います。
また、各事業会社で共通に必要な機能を
効率的に集中処理するなど、事業会社
をサポート。事業の効率化を図ること
によって、よりスピーディーで、安全、確実な
サプライチェーンを実現させます。

ミッションクリティカルな システムを支える SWANStor

SWANBox を導入される前に既に
SWANStor をご利用いただいており
ましたが、ご利用の形態をお教えくだ
さい。

弊社では SWANStor は中国の拠点に対して
輸出処理を行うシステムで利用されていま
す。これが止まってしまうと、現地から輸出
することができなくなるため、ビジネスが止
まり、会社に損害を与えてしまいます。その
ため、決して止めることができないシステム
であり、同時に最も高いセキュリティレベル
が求められます。

このシステムは計画当初から日本で稼働さ
せることになっていたため、中国から日本に
あるシステムへ接続する仕組みが必要でし
た。その当時、既にルーター間 VPN によって
中国拠点と接続を行っていたので、これを

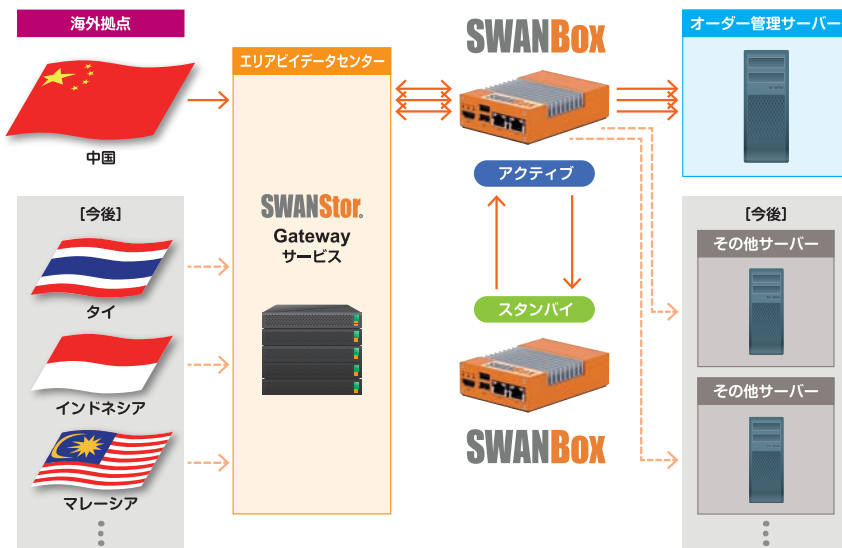
利用することを検討していましたが、顧客へ
の導入も必要となり、改めていくつかの
SSL-VPN サービスを含めて比較検討する
こととなりました。

数あるサービスの中から SWANStor
を選んでいただいた理由はなんだろう
か。

選定にあたっては、導入のしやすさが大きな
ポイントでした。

他のサービスでは、クライアント PC に専用
ツールが必要だったり、ファイアウォールの
設定変更が必要で、顧客への導入が難しい
といった問題がありました。

その点、SWANStor はファイアウォール
やクライアント PC の設定変更が必要なく、
SWANStor 自体の設定も簡単で、アクセス
コントロール等の機能も充実している割に、
簡単に導入・運用が可能でした。また、コス
ト面でも非常に優れていたこともあり、
SWANStor を利用することに決定しました。



SWANStor の導入のしやすさを気に入っていただけただんです。

高度な可用性とセキュリティが求められるシステムの下支えとして SWANStor を採用しましたが、機能面・性能面だけでなく、エリアビイ社はセキュアネットワークのスペシャリストの集団であった事も大きかったです。それが SWANStor 導入の大きな理由でした。

SWANBox という 新たな選択肢

この度 SWANBox を採用されたのはなぜでしょうか。



今まで使用してきたハードウェアの保守期間満了のため SWANStor を新たなサーバーに載せ替える検討を行っていましたが、2016 年の夏に送られてきたエリアビイのメールマガジン*で SWANBox の存在を知りました。それによると SWANBox とは、SWANStor が予めインストールされたアプ

ライアンスのマイクロサーバーとのことで、早速エリアビイに問い合わせを行い説明を受けた結果、大変興味を持ちました。

弊社にとって SWANStor は既に重要な通信インフラとなっていました。ミッションクリティカルなシステムを支えるため、それまでシングル構成であったものを冗長構成にしようとしていましたが、SWANBox でも冗長構成が可能とのことでした。サーバー用のハードウェアを別途用意する場合に比べて低コストで構築でき、手軽に導入できる点が決め手となり、冗長構成にて導入する事を即断しました。

将来のシステム展望について

今後、貴社のシステムはどのように発展していく予定なのでしょう。

今回はこれで中国との間にセキュアな通信インフラを構築できました。今後は同じような仕組みをタイ、インドネシア、マレーシア等で導入し、システムも現在使用しているシステムだけでなく、さまざまなシステム

● SWANBox システム構築

構築作業はエリアビイジャパンの創業当時から販売パートナーであり、SWANStorにも精通しているミカサ商事株式会社が担当しました。

システムの可用性が高い次元で求められるため、SWANBox のシステムはアクティブ・スタンバイの冗長構成で構築する事になりました。ミカサ商事株式会社は事前検証、本環境構築からテスト運用まで関わり、冗長構成の設定の微調整等を行った後、2016年11月にシステムが正式稼働しました。

分野に広げて行く事を計画しています。

また今後はセキュリティ強化のために用意されている、さまざまなオプション機能も採用を検討したいと思っています。

エリアビイジャパン/ ミカサ商事について

SWANBox の導入に際して、エリアビイジャパンとミカサ商事の対応はいかがでしたか。

非常にやりやすかったです。こちらからのリクエストに対して柔軟に、そしてスピーディーに対応していただきました。

システム移行に関しては、国内だけでは完結せず、海外(中国)とのスケジュール調整など時間がかかる部分もありましたが、並行運用期間に対しても柔軟に期間延長などにも応えていただけました。

セキュアなりリモートアクセス環境に対する知識が豊富なエリアビイとミカサ商事にプロジェクトを依頼して、本当に良かったと思っています。

お忙しい中、貴重なお話をお聞かせいただきましてありがとうございました。

* エリアビイ ニュースレター
(月 1 回発行)
配信のお申し込みは...

件名に「メール配信希望」と記入いただき、本文は無記入のまま
sales@areabe.com までメールをお送りください。



エリアビイジャパン株式会社

www.areabe.com

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-26 KDX飯田橋ビル4F

E-mail. sales@areabe.com

TEL. 03-6758-0540(代表) / FAX. 03-6758-0541

● 本カタログに記載の内容は、2016年12月現在のものです。なお内容は予告なく変更する場合があります。
● 本カタログに記載の各社社名、製品名、ロゴデザインは、各社の登録商標あるいは商標です。

お問い合わせは